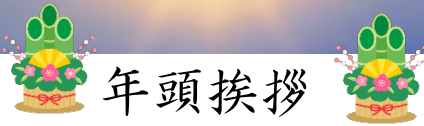


冬号：2022年1月発行

発行：寿泉堂クリニックイベント企画委員会

<http://www.jusendo.or.jp/cln>

tel：024-939-4616



年頭挨拶



院長
熊川健二郎

『何事にも一生懸命に！』
オオタニショウヘイのノート



新年あけましておめでとうございます。

昨年、プロ野球大リーグのアメリカンリーグMVP（最高殊勲選手）に岩手県出身の大谷翔平（リアル二刀流）が選出されました。なんとアメリカンリーグ投票者（スポーツ記者）30名すべてが1位に彼の名前を記名、満票で獲得しました。このニュースは日本でもすぐに広まり、NHKテレビは過去の放送含め特集を何度も流しました。その放送の中で父親とのノート交換を紹介。プロ野球でドラフト1位で指名されるため大事なものはなにか。様々なやり取りが写し出されていました。印象に残ったのは野球に対する向き合い方です。

『一生懸命 走る。振る。投げる。』と

結果的に2013年日本ハムにドラフト1位で指名。2016、17年二桁勝利と本塁打を獲り、2016年日本一。2018年大リーグ エンゼルスに入団。2021年打者と投手の二刀流でアメリカンリーグMVPを獲得。

我々スタッフも『一生懸命 考え。相談。対応。』していきますので本年もよろしくお願ひします。

～年頭に思う～



名誉院長
白岩 康夫

明けましてお目出とうございます。

昨年6月2日20時5分、国際宇宙ステーション（ISS）が頭上を通過するのを福島市渡利でみることができました。ステーションには日本の実験棟「きぼう」が設置されています。この中では未来の科学発展に繋がるようなさまざまな実験が行われています。

その一つに血液中のリンやカルシウムの濃度をコントロールするクロトーと呼ばれる遺伝子の研究があります。この研究が発展し、将来リンやカルシウムを今より容易にコントロール出来る何かが生まれれば嬉しいです。

今年こそコロナ禍が収束するよう願っています。

何事も希望を持つことが大切です。

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナに明け暮れた1年でした。コロナの検体採時や痛みや寒さ、透析室での換気時の寒さ。隔離透析などの不快な思いなど、患者さんには様々なご協力をいただきありがとうございました。過剰とも思えるかもしれませんが、“疑わしきは検査を”という考え方で行ってまいりました。幸いにして、寿泉堂クリニックではこれまでコロナの発生件数は0です。今年もご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ところで、ようやく新クリニック建設が決定いたしました。数年後に完成予定ですが、さらに寿泉堂総合病院との距離が短くなりますので、救急外来を含めた外来受診や入院が便利になり患者さんの負担を減らせものと思われれます。新クリニック開設時にはコロナは収束しているかもしれませんが、感染に対応した設備も考慮しております。

今年もよろしくお願い申し上げます。



センター長
百瀬 昭志

新たな年を迎えて

令和になって4年目の新年を迎えました。年末は新型コロナウイルス感染症が少し落ち着いていたので、離れている家族と年越しやお正月のごちそうを並べ、にぎやかに過ごすことができました。孫たちは虎の子にも負けなたくましさで雪遊びに興じていました。

透析センターでも新年のご挨拶をいただきながら、新規の方をお迎えしました。135名の患者さんの中には90才を超えて通院されている方も数名いらっしゃいます。ご縁に感謝しながら患者さんにご家族の暮らしを支えるため、医師をはじめ協働するチームで、フットケアや運動療法、ご家族との相談など居心地の良い透析センターづくりを目指します。

皆様からのお力添え、よろしくお願いいたします。



看護科長
相良やよい

新しい薬

寿泉堂クリニック院長 熊川健二郎

～内服による腎性貧血薬～

腎性貧血とは、腎臓で作れるエリスロポエチンと呼ばれる物質の産生量が減少することによって引き起こされる貧血のことです。エリスロポエチンは造血ホルモンとも呼ばれ、赤血球という血液の細胞の産生を促す作用があります。このため、エリスロポエチンが減少すると赤血球の産生量も減少し、貧血を引き起こします。腎性貧血は、腎機能が低下するほど発症しやすくなります。

血液透析患者はヘモグロビン(Hb) 10 g/dL～12 g/dLを目標値と定めています。

治療薬

①赤血球造血刺激因子製剤：透析終了後に投与する注射薬

- ・ダルベポエチン α (5 μ g～60 μ g) 毎週1回投与
- ・ミルセラ(12.5 μ g～200 μ g) 2週間に1回投与

②内服による腎性貧血薬【HIF-PH阻害薬】

★当クリニックでのHIF-PH阻害薬の種類★

○エベレンゾ(ロキサデュスタット) 100mg

用法及び用量

通常、成人には1回70mg又は100mgを開始用量とし、週3回経口投与する。

以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1回30mg/kgを超えないようにする。



○ダーブロック(ダブロデュスタット) 4mg

用法及び用量

通常、成人には1回4mgを開始用量とし、

1日1回経口投与する。

以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回24mgとする。



○マスーレッド(モリデュスタットナトリウム) 25mg

用法及び用量

通常、成人には1回25mg又は50mgを開始用量とし、
1日1回食後に経口投与する。

以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、
最高用量は1回200mgとする。



○バフセオ(バダデュスタット) 300mg

用法及び用量

通常、成人には1回300mgを開始用量とし、
1日1回経口投与する。

以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、
最高用量は1日1回300mg/kgを超えないようにする。



×マスーレッド錠とバフセオ錠を内服する上での組み合わせ注意の薬×

- 1) 多価陽イオンを含有する経口薬剤(カルシウム、鉄、マグネシウム、アルミニウム)を服用している場合

HIF-PH錠の吸収が低下してしまい、作用が弱まることがあります。

多価イオンを含有する経口薬剤を服用する際は、HIF-PH錠の服用前後

2時間以上間隔をあけて服用して下さい。

- 2) HMG-CoA還元酵素阻害剤(コレステロールを低下させる薬)を服用している場合
HMG-CoA還元酵素阻害剤(スタチン系)の中には、その薬の血中濃度が上がってしまうことによって、**筋肉が痛い、尿の色が赤褐色になる**などの副作用が現れる場合があります。これらの症状がみられた場合は、ただちに医師、薬剤師にご相談下さい。

- 3) その他に注意が必要

- ・プロベネシド(痛風治療薬)
- ・サラゾスルファピリジン(潰瘍性大腸炎、リウマチ治療薬)
- ・フロセミド(利尿薬)
- ・メトトレキサート(リウマチ治療薬、抗悪性腫瘍薬など)

○エナロイ(エナロデュスタット) 4mg ⇒ クリニックでは不採用

用法及び用量

通常、成人には1回4mgを開始用量とし、1日1回食前

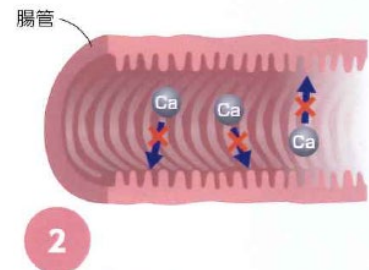
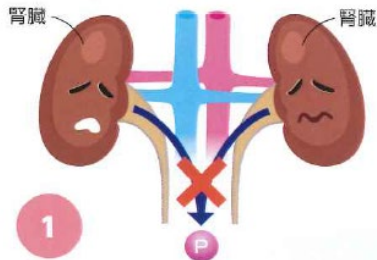
又は就寝前に経口投与する。最高用量は1日1回8mg/kgとする。



～注射による

二次性副甲状腺機能亢進治療薬～

二次性副甲状腺機能亢進症は、腎臓の働きの低下が原因で、副甲状腺からのホルモン（PTH）の分泌が過剰になり、血液中のカルシウムやリンの濃度のバランスが乱れ、骨折や心臓病などさまざまな病気を招きます。

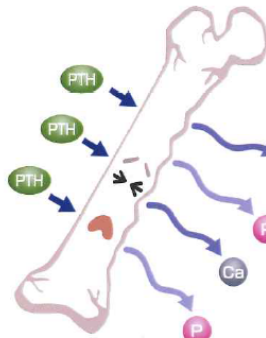


P ↑ Ca ↓



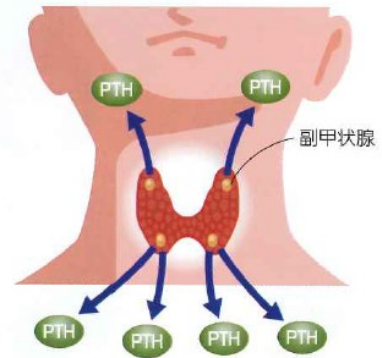
4

副甲状腺からの大量の副甲状腺ホルモン(PTH)分泌が長く続くと、骨からリンやカルシウムが溶け出し、骨が脆くなり、骨折など骨の病気をきたしやすくなります。



3

血中のリンが増加し、カルシウムが減少すると、副甲状腺から大量の副甲状腺ホルモン(PTH)が分泌されるようになります。



P ↑ Ca ↓ PTH ↑



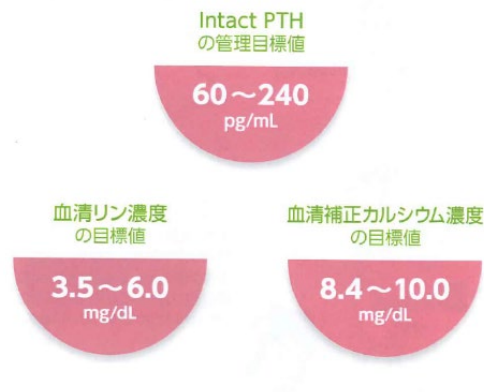
5

また、過剰になったカルシウムならびにリンが血管に沈着することで、血管が硬くなり、心臓病や脳卒中の原因となります。これを「血管石灰化(けっかんせっかいか)」といいます。

P ↑ Ca ↑ PTH ↑

二次性副甲状腺亢進症の治療では、副甲状腺ホルモン(Intact-PTH)や血清リン、血清カルシウムのコントロールが重要です。

下記の数値範囲内にコントロールした場合、死亡リスクが低くなることが報告されています。



新しく採用した薬剤 ウパシタ注

ウパシタは副甲状腺に働いて副甲状腺ホルモンの分泌を減らします。副甲状腺ホルモンの分泌が減ると、骨からのリンやカルシウムの溶け出しが抑えられます。

ウパシタは、血液透析終了時に注射として投与されます。



使用中の注意

